

美しいやまがた

発行所 NPO法人
美しいやまがた
森林活動支援センター
南陽市荻978-1番地
電話：
090-7932-8059
メール：
totoro-n@jan.ne.jp

いいなあ、煙たなびく風景

暮らしの学校
薪ストーブ設置、ペレットストーブ設置、薪風呂
森とおいしい石窯ピザそして、冷たい井戸水

深い雪もいつの間にか、魔法のように融けて、最も良い季節。原発の再稼働が決まり、経済優先の生活パターンから抜け出すチャン

スを失った日本は哀しい。フクシマを見捨てたような、大飯原発の再稼働は許せない。（編集長個人の感想であるが私は怒っている

原発再稼働よりも先に、稼働した。15日からは、昨年より準備してきた、循環型生活の実践に入った。井戸水はこんこんと溢れ、薪

ヨンは、循環型のエネルギーギーと森と暮らしを多くの方々に知ってもらいたいということで、

る。～
しか
し、私
たちの
ミッシ

いに大活躍。石窯は、炭を燃やして熱くして、ピザなどを焼いて食を堪能。16日からは、梅雨空で結構寒い。薪ストーブを焚こうと

いうので、今の季節に暑くないかと思いきや、ちょうど良かった。今回の薪ストーブは、胴体が長く、間伐の杉材なども使えるもので、棟梁の伊藤さんが気に入

入り、購入者第一号となった。伊藤さんが気に入っているのであれば、これは本物だ。そして極めつけは、薪ボイラーによる薪風呂である。

昨年にセブンイレブン基金で設置されたものである。ようやく冬も終わり、雪囲いもはずしたところで、入

風呂への補給や手洗

浴を堪能した。薪風呂は、桧の香りにつつまれてとて

薪ストーブに火がついた



こんこんと溢れる井戸の水
ちょっとコツがいる。



石窯はフル回転

の井戸掘りの苦労



が忘れてしまう心地よさがあった。さらには、飯豊町からペレットストーブを寄附してもらい、応接室に設置することにした。以前の学校を借りていた某大学教授が、屋根に邪魔だと煙突を壊してしまつて言う。なんと浅はかな話だろう。おかげで、その煙突は使用できないのだ。（現状回復もせずに、ほっぽり出したことになる。）地域の学校には、地域の暮らしに添った暮らし方があったのに、それを無視して新しいパターンを求めた結果である。昔に学んでいない。地区の方々も、これにはがっかりしたようである。それでも秋には、ペレットストーブも稼働させたいと思うのです。来年は、雪室でも構想は膨れます。

煙たなびく山村の風景と香りに、子どもの時のシアワセを感じたひと時であった。